

“ひょうごのハートランド”をめざして

北播磨地域ビジョン委員会では、地域の将来像である、人とまちが元気にきらめき、魅力にあふれた“ひょうごのハートランド”をめざし、各委員が地域像ごとに、5つの分科会に分かれて、様々な活動を行っています。



北歩くんの紹介

北歩くんは、北播磨の地形がベースで、かぶと虫がモデルです。

【ユニフォームの色が表すもの】

- 「緑」・・・豊かな自然
- 「青」・・・加古川などの清流
- 「黄」・・・住民の元気や活気
- 「赤」・・・ビジョン委員の熱い思い

第9期北播磨地域ビジョン委員会

委員長 内藤 忠



北播磨地域は、兵庫県のほぼ中央に位置し、都市近郊にありながら本格的な農林業、歴史と地域に根付いた地場産業が盛んで、森や丘と川の水面が美しい豊かな自然環境に恵まれ、幅広い世代が住まう地域です。

私たち北播磨地域ビジョン委員会は、地域ビジョンの実現を目指して5つの分科会に分かれ、「まちむら交流で地域に活力を育む」、「暮らしの絆を深め地域で安全・安心を支える」、「文化を地域の暮らしに活かす」、「豊かな自然や生態系が調和した暮らしが持続する」、「誰もが生きがいを持って地域で働くことができる」の5つの地域像を具体化するための様々な実践活動を、ツアーの実施、勉強会や講座の開催、イベントへのブース出展により広く展開してまいりました。

皆さんも私たちと一緒に、地域の元気を作る活動をしてみませんか。ご参加をお待ちしています。



北播磨の魅力発信は僕にお任せ!

北歩くんが行く

交流が広がる分科会

～「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします～



北歩くん



「はりちゅうの日」

北歩くんの活躍

北播磨地域ビジョン委員会のイメージキャラクター「北歩（ほっぽ）くん」が、地域のイベントに参加し、イベントをPRするとともに、北播磨地域ビジョンの理念の発信に努めています。

「嬉野春のフェスティバル」（平成30年5月4日（金））、看護の日のイベント（平成30年5月12日（土））、「はりちゅうの日」（平成30年11月18日（日））などの地域イベントに参加しました。



「うれしの春のフェスティバル2018」



「看護の日イベント」

地域の魅力ツアー・ウォークイベントの開催

ツアーやウォークイベントを通じ「北播磨」の魅力を地域内外に伝え新たな交流の輪を作るとともに、北播磨に住む人たちの「地域への誇りと愛着」を育てます。今年度は加西市鷯野飛行場跡などの戦跡を巡るツアーを実施します。

～北播磨(加西市)に存在する戦跡を中心に～

- 姫路平和資料館（手柄）→京口駅前（川西航空機姫路製作所跡）
- 国道372号線→酒蔵ふく蔵
- 網引駅（列車転覆事故殉難の地碑）
- 鷯野飛行場跡

平成31年3月9日（土）実施予定。



姫路平和資料館



網引駅



川西航空機姫路製作所跡



鷯野飛行場跡



神戸電鉄・JR・北条鉄道が乗り入れる「粟生駅」

神戸電鉄粟生線の活性化を支援

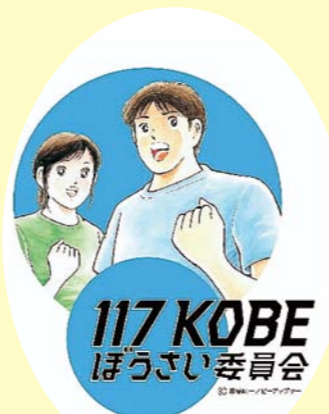
地域の鉄道を盛り上げて利用者を増やすことを目的に、北条鉄道、JR加古川線、神戸電鉄粟生線をつなぐイベントを検討中です。



北播磨の活性化にガンガンがんばるぞ!

生活(暮らし)の絆が深まる分科会

～家族・地域・生活(暮らし)の絆を深め、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします～



「ぼうさいワークショップ」

「117KOBEBousai委員会」から、3名の大学生「防災マスター」を招聘し、「ぼうさいワークショップ」を実施。

「117KOBEBousaiマスタープロジェクト」について説明を聞いた後、身近なもので簡単に作れる防災グッズ（ガラスの破片から足を守る「新聞スリッパ」・雨や寒さから身を守る「ゴミ袋レインコート」）の作り方を学習しました。（平成30年7月18日（水））



新聞スリッパ製作



ゴミ袋レインコートを着用



第4回兵庫五国祭の様子(メッセ三木)

第5回兵庫五国祭への参画を目指し、第4回五国祭を生活分科会メンバーで下見を行いました。

（平成30年9月15日（土））

「兵庫五国祭」に参加

第5回兵庫五国祭に「防災啓発ブース」を出展し、防災への意識喚起を図りました。

兵庫教育大学の災害支援グループ「コンベイ・ア・スマイル」の協力を得て、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨などの災害時のボランティア活動に関するパネル展示や、防災グッズ作成教室を開催し、防災への備えの大切さを知ってもらうための啓発活動に取り組みました。

（平成31年2月9日（土）～10日（日））



【防災日めくりカレンダーの活用】

火事の時 頭を低く 口をふさいで避難する(14日)



第8期ビジョン委員会では、子どもたちの防災意識を高めることをねらいとして「防災日めくりカレンダー」を作成し、北播磨地域の子ども教室や学童保育の計86ヶ所に150部配布しました。第9期ビジョン委員会においても、子どもたちが日々の生活の中で無理なく安全について学び、地震や風水害に備えることができるよう、積極的な活用をはかります。

文化が花開く分科会

～芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざしています～



「音」で北播磨の魅力を発信！

ビジョン委員自らが地域の音を集め、風景写真とコメントを添えて「北播磨の音風景50選」を作成。集まった北播磨らしい音風景を、インターネット等を通じて地域外に発信し、地域の魅力の再発見と地域外来訪者の増加を図ります。

(40選を、兵庫県ホームページ内「兵庫チャンネル」にて公開中。「北播磨地域ビジョン委員会」で検索、一覧から聞きたい音をクリック。)



北播磨の音風景マップ

音風景をお楽しみください。
(タイトルをクリックすると別ウインドウで開きます)

- 1 大宮八幡宮秋祭り屋台練り (45秒) 【三木市】(外部サイトへリンク)
- 2 鬼追い (55秒) 【三木市】(外部サイトへリンク)
- 3 ふいごまつり (40秒) 【三木市】(外部サイトへリンク)
- 4 神戸電鉄が鉄橋を渡る (45秒) 【三木市】(外部サイトへリンク)
- 5 御厨院大経碑 (50秒) 【三木市】(外部サイトへリンク)
- 6 住吉神社 (45秒) 【小野市】(外部サイトへリンク)
- 7 小野竹工藝 (40秒) 【小野市】(外部サイトへリンク)
- 8 小野市そばん大会 (40秒) 【小野市】(外部サイトへリンク)

北播磨地域ビジョン委員会ホームページ



視察研修会の実施

音風景収録技術の習得を兼ね、鶉野飛行場跡や杉原紙研究所などの北播磨の魅力ある地域資源の視察研修会を行いました。

(平成30年7月9日(月))



鶉野飛行場跡(ボランティアガイドの説明)



(地下飛行指揮所跡)



杉原紙研究所(紙漉き音の収録)



“音風景”を巡るツアー



「北播磨音風景50選」の広報活動の一つとして、「ビジョン委員が選んだ“音風景”を巡るツアー」をシリーズで計画しています。地域内外の多くの人々に、「北播磨音風景50選」を実際の風景とともに味わい、北播磨地域の魅力を実感し楽しんでいただくツアーです。ご期待ください。

恵み豊かな環境が持続する分科会

～北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざします～



「自然を食べる」

子どもたちに、自然の季節の幸を味わう機会を説明つきで提供し、楽しみながら自然保護への関心や意欲を育てることを計画しています。フィールドワークの実施に向けて、北播磨地域内の候補地下見会を行いました。

(平成30年10月3日(水))



「子ども摘み菜体験」

加東市出身の藤井文子氏(株山と渓谷社の元編集長、株グレイ代表取締役、摘み菜ガーデン主宰)を招き、子どもが集まりやすい時期、摘み菜に適した野草の多い時期を設定し、子ども摘み菜体験を計画中。

子どもたちが、北播磨地域の豊かな自然環境の中で、自然環境に対する意識をより高めることをねらいとして、自分が食べているものが自然の中ではどのように生きているのかを学びます。



「水に触れる」

東条川疏水の歴史や役割を理解し、水の大切さを学ぶイベント「水路 de ボート探検」(兵庫県東播土地改良区主催・平成30年11月4日(日))を見学。次年度では「利き水会」などの環境への意識を高めるイベントの開催を目指しています。



元気な産業が興る分科会

～多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします～

- 安全、安心な有機肥料「HYS低温発酵有機資材 保田ぼかし」を利用した有機農業の学習、実践活動を通じて、有機農業の普及と安全・安心な農産物の魅力の発信に努めます。

保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会

神戸大学名誉教授の保田茂氏が開発した「HYS 低温発酵有機資材保田ぼかし」の勉強会を、平成30年7月から平成31年2月まで年8回のシリーズで開催し、有機農業による野菜づくりの普及と美味しく安心・安全な野菜の魅力を伝えました。

農業を営んでおられる方、家庭菜園を楽しんでおられる方、消費者の方など多くの方々の参加があり、有機農業への関心の高まりが感じられます。



健康野菜づくりの勉強会（平成30年7月17日(火)）

《勉強会の内容》

- ①有機農業の考え方と方法
- ②土づくりの理論と方法
- ③堆肥の効用と利用
- ④ぼかしの効用と利用
- ⑤野草の効用と利用
- ⑥土と野菜の関係
- ⑦化学肥料と農薬の問題点
- ⑧有機農業の時代

「北播磨『農』と『食』の祭典」

北播磨『農』と『食』の祭典（平成30年11月17日(土)～18日(日) ネスタリゾート神戸）に有機野菜のブースを出展し「保田ぼかし」についての展示説明、ミニ講座と、「保田ぼかし」を用いて有機農法で栽培した野菜の試食・販売を行いました。



出展ブース

有機農業圃場現地見学会

実際に有機農業を実践中の農家の圃場見学会を計画しています。実際の圃場を見ながら、実践的な栽培の手法を学びます。

人と環境に優しい有機農業講座

神戸大学名誉教授の保田茂氏と県農業改良課参事の西村いつき氏による「人と環境に優しい北播磨有機農業講座」を開催します。（平成31年3月1日(金)）

「有機農業」の考え方から、「保田ぼかし」の作り方ははじめとする具体的な農法についてまでを詳しく、かつ、楽しく学び、実践につなげる講座です。



保田先生による実演（画面中央）を熱心に見学する受講生の皆さん（平成29年度の様子）

北播磨地域夢会議

北播磨地域の将来像の実現に向けた取組等について、地域ビジョン委員と地域の方々が集まり、意見交換を行う「北播磨地域夢会議」を毎年開催しています。

平成30年度は、地域を担う人材を様々な世代との触れあいの中で育み、ともに“ふるさと北播磨”の未来像を描いていく機会となるよう、北播磨地域各市町からの6団体による実践事例の発表と全体意見交換を行います。

【平成30年度テーマ】

「地域を担う人材を育み、ともに描く“ふるさと北播磨”の未来像」

- 1 日時 平成31年2月16日(土) 13:30～16:00
- 2 会場 兵庫県立フラワーセンター 花の展示ホール
- 3 内容 <第1部>事例発表

- ◆ 認定 NPO 法人みなみ会 (西脇市)
放課後支援や親子教室開催などの地域教育力を高める活動を実施
- ◆ 市場地区環境保全隊 (小野市)
山田川をフィールドに自然環境に触れあう取組みを多世代で実践
- ◆ 県立播磨農業高等学校 (加西市)
大地に生きる播農生～播磨農高生の挑戦!～
- ◆ 県立社高等学校生活科学科 (加東市)
高校生自ら加東市の魅力を発信するツアーを地域団体等と協力して企画
- ◆ 中町北小学校播州歌舞伎クラブ (多可町)
ふるさと文化「播州歌舞伎」を活かした児童の健やかな成長支援
- ◆ 地域交流施設「おおきなき」 (三木市)
子ども食堂の取組みを通じた多世代交流～子どもたちへの切れ目のない支援を目指して～



北播

- <第2部>全体での意見交換
ファシリテーター 兵庫教育大学大学院教授 田中 雅和



※「残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト優秀作品」の展示